

ものづくりDX

「人」を中心としたデータドリブンなものづくり

実証実験パートナー募集中

現場の見える化から課題解決に取り組みませんか

製造業は人手不足、技能継承、コスト高騰などの課題に直面し、デジタル化が解決策として注目されています。富士通フロンテック株式会社では、あらゆるデジタルデータを活用して工場の今を見える化。「人」中心のものづくりDXにより、変化に強い生産体制の構築を実現しております。これら取り組みを広げていくことで同じような課題を持つお客様の課題解決のお役に立てるか、検証を進めております。興味をお持ちの方はお気軽にご連絡ください！

弊社のスマートファクトリー化に向けた取り組み

■ 弊社が抱えていた課題



人手不足&技能継承



現場を取り巻く
環境の変化



生産コスト高騰

■ 施策内容



タブレットによるデータ収集

作業者一人一人にタブレットを配布。紙帳票を電子化するだけでなく、作業開始・終了をチェックすることで人の作業に関するデータを取得。

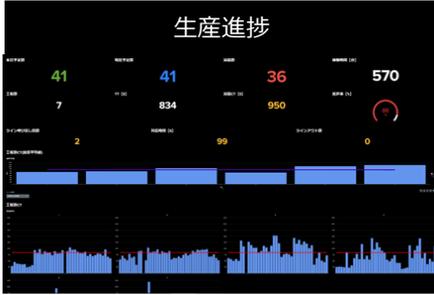


ダッシュボードによる現場状況の見える化

タブレットからのデータをリアルタイムで集計・分析し、現場をダッシュボードで見える化

施策内容（現場状況の見える化）

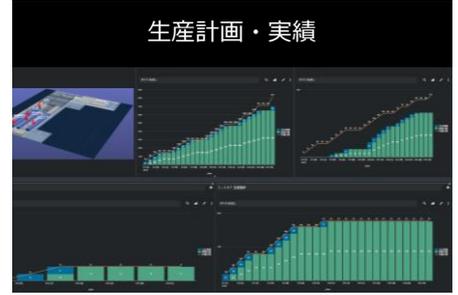
現場状況の見える化、改善すべき課題をタイムリーに把握することで継続的改善活動を支援。



- ・ライン/セル単位で当日の生産計画に対する遅れ/進みをリアルタイムで見える化



- ・機種、図番毎の作業実績工数が見える化。
- ・ボトルネックになっている工程や作業を速やかに特定。



- ・工場全体の生産計画/実績を一元管理。
- ・個々のラインだけでなく、工場全体の状況を把握し、全体最適な体制構築。

成果



経営者

現場全体の状況が見えるようになったことで、どこに課題があるのかわかるようになった。損益改善だけでなく、従業員のエンゲージメントも向上した。



現場管理者

ライン毎の遅れ進みだけでなく、なぜ遅れたのかの原因がすぐに特定できるので、素早く対処できるようになった。管理業務が減り、改善といった付加価値を高める業務に集中できる。



現場作業員

ペンと工具を持ち変える必要がないので、作業がスムーズに。久しぶりの作業も動画や画像で作業手順を確認できて便利。

本取り組み内容は、富士通フロンテック株式会社公式HP、YouTubeでもご紹介しております。



公式HP



YouTube

お問合せ先

当社のものづくりDXに関して気になることがございましたら、是非お気軽にお声がけ下さい。

富士通フロンテック株式会社 ものづくりDX推進事務局

ftec-nimo@dl.jp.fujitsu.com

